

会 議 録

会議の名称	令和5年度 第2回飯塚市健康づくり・食育推進協議会
開催日時	令和5年11月7日（火曜日） 19時
開催場所	飯塚市穂波庁舎 2階 203会議室
出席委員	松岡委員、山口委員、塚本委員、永末委員、山下委員、河邊委員、猿渡委員、塩川委員、山本委員、高城委員、古藤委員、大村委員
欠席委員	大内田委員、白神委員
事務局職員	<p>【飯塚市】 (健幸保健課) 林課長、橋本課長補佐、大力成人保健係長、小鶴管理栄養士、山口管理栄養士、松本保健師、江頭保健師、山下主任、山崎主事補 (子育て支援課) 三善課長補佐</p> <p>【オブザーバー】 (グローバル・ライフ・サポート株式会社) 日暮代表取締役、加藤主任研究員、藤田研究員</p>
会議内容	<p>・ 会議の成立について</p> <p>本委員会の委員総数14名のうち、12名が出席しているため、飯塚市健康づくり・食育推進協議会規則第7条第2項の規定により、会議が成立。</p> <p>・ 議題1. 委員紹介</p> <p>委員の変更に伴い、今回初めて参加する永末委員、塩川委員を紹介。また、前回欠席であった松岡委員、山下委員、高城委員を改めて紹介した。</p> <p>・ 議題2. 「第2次飯塚市健康づくり計画」及び「第2次飯塚市自殺対策計画」の市民へのアンケート調査結果について</p> <p>アンケートの調査結果については、集計をおこなったグローバル・ライフ・サポート株式会社（以下、「受託業者」という。）より説明された。アンケートの調査結果を踏まえ、受託業者より次のとおり評価分析が行われた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 栄養・食生活については改善がみられた項目は少なく、肥満の傾向

が強くなっている。これは、新型コロナウイルスの感染拡大により、外出や運動を控え、自宅で過ごすことが多くなったことが起因していると推測される。

- 休養やこころの健康について、成人では精神的疲れやストレスを感じる割合が高くなっており、社会経済状況の変化などから心理的負担が強くなっていることがうかがえる。
 - 小学生・中学生についても肥満の傾向が強くなっており、睡眠時間も十分にとれていない生徒も見受けられる。新型コロナウイルスの感染拡大や大人の生活スタイルの変化が起因していると推測される。
 - 「70歳以上の痩せの割合」「80歳以上で歯の本数が20歯以上の割合」「児童・生徒における地産地消の認知度」等、食育の取り組みや歯・口腔に関する取り組みについては改善の傾向がみられた。
- 以上、受託業者よりアンケートの調査結果に関する説明を終えた。

委員より、以下のとおり質問・意見が寄せられ、事務局がそれぞれ回答・対応した。

- 自由回答の中にアンケートが長いという意見が多い。また、回答率が28.1%であるが、高いのか低いのかを教えて欲しい。回答率を上げるために、今後アンケート調査を簡略化するなど改善の余地はないか。

→全体的に設問数が多いというご指摘だが、今回は国が示している「第3次健康日本21」の目標に関する現状値を把握するために設問数が多くなっている。また、回答率は配布数の3,000件に対する844件の割合となっており、対象の市内在住の18歳以上の人口から必要となるサンプル数は310件程なので問題ないと考えている。今後のアンケート調査の改善については、指標をどのように設定するかなど全体的に検討し、見直すことが必要だと考えている。

その他意見等無かったため、委員に本議題について諮ったところ承認された。

・議題3.「第2次飯塚市健康づくり計画」及び「第2次飯塚市自殺対策計画」の素案について

まず事務局より、事前に委員に配布していた各計画書の素案から修正が生じた箇所については、今回配布した「新旧対照表」のとおり整理した旨

が説明された。

続いて、「第2次飯塚市健康づくり計画」の構成と前計画からの主な改正点について説明された。なお、「第2次飯塚市健康づくり計画」の24ページ「施策の実施状況の評価と課題」については、評価と課題分析を行った受託業者より説明された。

「第2次飯塚市自殺対策計画」についても、計画の構成、前計画からの主な改正点について事務局から説明された。「第2次飯塚市自殺対策計画」の44ページ「飯塚市自殺対策計画（第1次計画）の評価」については、評価を行った受託業者より説明された。

以上、事務局より各計画の素案に関する説明を終えた。

委員より、以下のとおり質問・意見が寄せられ、事務局がそれぞれ回答・対応した。

- 特定健診の受診率に関して目標が60.0%に対して現状値が49.9%と少ないが、令和4年の39.0%と比べると増えている。また、飯塚市の特定健診の受診率は福岡県や全国と比べても高いが、さらに受診率を増やした方が良いのか。
→特定健康診査の受診率に関して、飯塚市は福岡県内でも高い方である。過去に受診率が50%を達成したことがあったが、その後は若干の減少となった。加えて新型コロナウイルス感染症のまん延による受診控えがあり受診率が低くなっている。ただし、一昨年からは回復傾向にある。高い目標ではあるが受診率60%に向けて取り組んでいきたいと考えている。
- パブリックコメントの時にアンケート調査結果報告書も掲示するのか。
→計画の素案のみ掲示する。

その他意見等無かったため、委員に本議題について諮ったところ承認された。

・議題4. 今後のスケジュールについて

事務局より次のとおり今後のスケジュールについて説明された。

素案の修正後は議会に報告し、年末から約1か月間、パブリックコメントを行い、意見を集約し、素案に反映させる。その後、協議会を開催し、計画の最終案について委員に諮る予定である。

委員からの意見等無かったため、本議題について諮ったところ承認され

	<p>た。</p> <p>・ 議題 5. その他</p> <p>その他意見、報告はなかった。</p> <p>以上をもって、「令和 5 年度 第 2 回 飯塚市健康づくり・食育推進協議会」を終了した。</p>
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 委員名簿 ・ アンケート調査結果報告書 ・ アンケート調査結果報告書（別冊） ・ 第 2 次飯塚市健康づくり計画（素案） ・ 第 2 次飯塚市自殺対策計画（素案） ・ 第 2 次飯塚市健康づくり計画（素案）新旧対照表
公開・非公開 の別	<p>1 公開 2 一部公開 3 非公開</p> <p>(傍聴者 0 人)</p>
その他	